

事務事業名	都市物産交流事業		所属部局	農林商工部	単位番号	2103- 900068				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	観光商工課	課長名	栢原 伸幸				
			所属担当	観光担当	担当者名	中澤弘樹				
基本政策	基本計画体系	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 07	項 01	目 03	細目 020	細々目 62
政策	07	農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	12	生産を支える基盤の整備充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 地域資源を活かした観光の振興を南アルプス市総合計画に位置づけ、山岳と果樹による観光振興並びに農業振興策を進めてきた。 平成22年、市長の選挙マニフェストにある「ふるさと愛プロジェクト室」を設置し、交流長寿プロジェクト担当を配置し、大田区及び荒川区へのイベントに参加してきた。交流事業は、一方的な想いだけでは長続きせず、互いが理解しあい、信頼感を構築した上で進めることが肝要であることから、今後も継続して同区とのイベントを中心とした交流を進める。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 普通旅費 4 消耗品 108 印刷製本費 計 112						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 荒川区川の手荒川まつり・交流都市フェアの参加 27年度活動予定 荒川区川の手荒川まつり・交流都市フェアの参加	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア参加回数 回 イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	首都圏住民 南アルプス市民	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア関東地方の住民数 万人 イ南アルプス市人口 人 ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	首都圏における南アルプス市の認知度を高める	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア南アルプス市という名前を知らないと答えた人の割合(GAP調査) % イ観光客の入込み客数 人 ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市内への集客人数を増やし、地域に金を落とす仕組みを作り地域を元気にさせる	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア住みやすい地域だと感じるに答えた人の割合 % イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		20	112	120	120	120	
		事業費計(A)	千円	0	20	112	120	120	120	0
人件費	内訳	正規職員従事人数	人		1	1				
		延べ業務時間	時間		80	80				
		人件費計(B)	千円	0	364	364	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	384	476	120	120	120	0
活動指標	ア	回		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
対象指標	ア	万人		4,184.0	4,183.0	4,182.0	4,181.0	4,180.0	4,200.0	
	イ	人		72,635.0	72,635.0	72,635.0	72,635.0	72,600.0	73,000.0	
成果指標	ア	%								
	イ	人		432,152.0	453,759.0	476,447.0	500,270.0	525,283.0	525,830.0	
上位成果指標	ア	%		69.7	70.0	71.0	72.0	73.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成22年の市長選挙において中込現市長が都市農村交流の推進を選挙公約として訴えてきた事業であり、これを受け平成22年9月に交流長寿PTを設置した
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	地方での人口減少傾向は進展しており、地域に元気をもたらす方法として都市農村交流への期待度は高い。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	高齢化や担い手不足に伴う遊休農地の増加などを受け、都市住民を対象としたツーリズムへの期待は大きく、グリーンツーリズム事業に対する補助金等への問い合わせが多くなっている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成23年9月からPJ室を設置し、総合政策部で交流事業を進めたが、組織が上手く機能しなかったため所管部署の見直しを行い、所管を商工観光課とした。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	観光と交流を一体的に捉え、県内外にPR活動を実施した。

事務事業名	都市物産交流事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 イベントへの継続した参加により交流都市とのパイプをつなぎ、将来的な誘客への足がかりとする。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 対行政の取り組みとして行っているため、行政が窓口となって取りまとめることが望ましい。但し、実際に交流を行うのは民間の力を大いに活用したい。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 交流都市との定期的なつながりが持て、また、恒例化すれば固定客も望めるため継続が大切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 民間を動員することにより販売の質の向上が期待できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 姉妹都市の物産販売との統合が図れる。 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 交流都市とのつながりの中で、認知度を高めるために継続して参加しないと交流先での認知度が著しく下がる。他の事業が軌道に乗って独自に行うことができれば休止も可。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 物販については民間の動員によりコスト削減を図ることができる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 物販については民間動員の可能性があるため、観光協会等と協議し出店者を見直す余地がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	交流事業については、観光協会農業振興課との区分が必要

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 関係者による協議																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑥ コスト削減優先度評価結果 ⑨																					